

「チーターの繁殖」に関する講演会を開催します
～チビーターの父親が判明！～

千葉市動物公園では、東邦大学と動物に関する様々なテーマで共同研究に取り組んでいます。
このたび、その研究の一つである「チーターの繁殖」について、講演会を開催しますのでお知らせします。

また、令和3年6月に誕生したチーターの子どもたちについて、DNA鑑定により父親が判明したので、本講演会で発表しますので、併せてお知らせします。

1 講演会の概要

(1) 日時

令和4年3月25日（金） 13:30～14:00

(2) 場所

ア 動物科学館1階 レクチャールーム

定員60名（先着順）※定員になり次第、締め切ります。

イ ライブ配信

東邦大学の協力のもと YouTube にてライブ配信を行います。

※視聴URLについては、後日当園ホームページに掲載します。

(3) 講演内容

繁殖のためのペアリング方法の検討や、観察からでは特定が難しい父親判定手法の検討など、今回の繁殖に関する取り組みを発表します。

テーマ1

- ・チーターにおける行動学的な繁殖の仕組み
- ・DNA鑑定による父親の判定

東邦大学 井上英治 准教授

テーマ2

- ・オスとメスのペアリング方法

動物公園 チーター飼育担当 中村彰宏



フィン(左)、フロド(中央)、フラッシュ(右)

《参考》

1 チーターについて

(1) 保護状況

レッドリスト VU (絶滅危惧Ⅱ類：絶滅の危険が増大している)

ワシントン条約付属書 I

※北西アフリカチーター・イランチーター CR (絶滅危惧ⅠA類)

(2) 特徴

体長 105～152 cm、尾長 51～87 cm、体重 35～65 kg

体表は黄褐色で腹部は白く、体全体に黒い小斑がある。

地上最速の動物で、ほんの数秒で時速110km以上に達する。

(3) 生態

草地、サバンナ、山地など様々な土地で見られる。メスは保育期以外単独で生活し、子どもを単独で育てる。オスは単独、または他のオスと一緒に生活する。昼行性で狩りは視覚に頼っている。天敵はブチハイエナ、ライオン、ヒョウなど。

(4) 分布

サハラ砂漠以南と北西部、東部の一部およびイラン

(5) 飼育頭数

ア 千葉市動物公園 雄5頭、雌6頭 (令和4年3月9日現在)

イ 国内飼育頭数 (14施設) 雄51頭、雌42頭 計93頭

※日本動物園水族館協会資料 (令和3年6月9日現在)